

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	長谷川昇
発言の会議	平成30年 2月27日 本会議
発言の種類	質疑、一般質問、緊急質問、討論、その他
質疑等の方式	一括、一問一答
答弁を求める者	市長、教育長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 新年度予算案全般について

- (1) (仮称) 中央こども園の用地選定について
- (2) よこすかポートマーケットをめぐる循環バスを(仮称) 中央こども園の送迎に活用することについて
- (3) 公設の放課後児童クラブ開設における学校改修を最低限にとどめ、1校分の予算で同クラブ空白区3カ所を整備することについて
- (4) ルートミュージアム型軍港資料館の整備において米軍基地内の用地返還を実現し、ティボディエ邸とは別に資料展示施設をつくることについて

#### 2 政策推進について

- (1) 市職員の市内居住の推進について
  - ア 前市長が対応策を検討すると答弁した後の政策誘導の内容及び市外居住率の推移について

- イ 空き家を利用した新規採用職員向け職員寮の整備について
  - ウ 危機管理の観点からの部課長級職員の市外居住について
  - エ 部課長級職員の市外居住人数及び割合について
- (2) 非常勤職員による災害対応体制の整備について
- ア 非常勤職員及び臨時職員の人数及び割合について
  - イ 「非常勤職員は災害対応に従事できない」という前市長の答弁について
  - ウ 非常勤職員が災害対応に従事するための条件を整備し早急に対応する必要性について

### 3 行財政改革について

- (1) 事務事業の評価・検証について
- ア 2017年度事務事業等の総点検において捻出した財源での「横須賀復活」及び「誰も一人にさせないまち」の実現について
  - イ 事務事業等の総点検を毎年実施する必要性について
- (2) 職員が「横須賀復活」につながる本質的な業務に専念するためのRPA（Robotic Process Automation）の早期導入について
- (3) 行政センターについて
- ア コンビニエンスストアにおける住民票等交付の実施及び行政センターへのコンシェルジュ配置による窓口業務の省力化、円滑化について
  - イ 窓口対応におけるICT活用による業務の効率化及びそのことによるコミュニティー支援の強化について
  - ウ コミュニティー支援の内容に不公平がないよう、本庁管内に行政センター機能を設ける必要性について
  - エ 逸見小学校に行政センターや地域包括支援センターなど地域の中心的な施設を集約し、さまざまな人が集う地域の拠点とし

て活用することについて

#### 4 ファシリティマネジメントについて

##### (1) 施設の有効活用について

ア 貸し室のルール見直しの必要性について

イ 産業交流プラザを含むベ이스クエアよこすかのリノベーションをFM戦略プランのリーディングプランとして市民に見える形で提示することについて

ウ 施設の保守管理を包括委託契約によって一元化することについて

##### (2) 指定管理者制度について

ア 指定管理者選考における競争性の欠如について

イ 指定管理者が自由度の高い管理運営をできるようにすることについて

#### 5 地域運営協議会について

(1) 同協議会の本来目的である地域自治の推進を達成していないと思われることについて

(2) 行政センターに独自の予算枠を設け、館長に一定の権限を譲渡し、同協議会を運営していく方法について

(3) 同協議会のあり方を抜本的に見直すことについて

#### 6 基地関連について

(1) 大矢部弾庫の市への返還に向けた積極的な働きかけについて

(2) 日米地位協定について

ア 地位協定は対等でなければならない等の議員時代の市長の主張について

イ 日米地位協定の改定について

(3) 平和と核兵器廃絶を実現するための今後の取り組みについて

## 7 地域経済について

(1) 産業政策の拡充について

ア 助成制度を拡充し、企業がより利用しやすい支援策を推進する必要性について

イ 多様な働き方を実現し人材確保をしている企業を表彰することで、他企業への波及効果を得ることについて

ウ 生産性向上のノウハウを持つ人材を中小企業に派遣する事業に関して、産業振興財団等と協力しチームとして支援する必要性について

(2) 公契約条例制定の可能性について

(3) 友好都市への修学旅行等に対する助成等、さらに連携を図る取り組みに関する市長、教育長の見解について

(4) 浦賀奉行所跡地における浦賀ドック跡地を含めた一体的な活用の必要性について

(5) 横須賀かるたの検討に係る進捗状況について

## 8 福祉・健康づくりについて

(1) トイレのユニバーサルデザイン化について

ア 公共施設に「みんなのトイレ」を設置することについて

イ コンビニエンスストアや大規模店舗等民間施設における「みんなのトイレ」設置に対する助成制度を設けることについて

ウ 市ホームページやわが街ガイドへの「みんなのトイレ」情報の掲載について

エ 高齢者や障害者など介護を受けている方が利用できるベッ

ドつき高機能トイレの普及について

(2) コミュニティバスの導入等について

ア 交通不便地域や移動困難者及び買い物難民への対応において、さまざまな支援メニューを備え、地域事情に応じて一元的に対応する必要性について

イ 今後のコミュニティバス支援の方法について

ウ 日産自動車株式会社から貸与されている電気自動車のコミュニティバスへの活用について

(3) 地域包括支援センターの役割について

ア 同センターの役割に見合う十分な委託料を確保する必要性について

イ 同センターの事務所として、コミュニティセンターの会議室等を駐車場を含め無償提供することについて

ウ 地域包括ケアシステム維持のため、委託業務量を軽減することについて

(4) 市役所における障害者雇用について

ア 本年4月に2.5%となる障害者の法定雇用率達成に向けた具体的な対応について

イ 知的障害者を雇用していない理由について

ウ 障害の種類別に目標を設定し、知的障害者・精神障害者の雇用拡大を図る必要性について

エ 外郭団体に知的障害者・精神障害者を雇用させ「横須賀市役所グループ」として目標値を達成することについて

オ 障害者就労施設に優先的に発注する等、市が発注する業務の中からそれぞれの障害者に合った役割を率先して創出する必要性について

(5) 市立病院の将来構想について

ア 本市南部の地域医療支援病院確保のため、JR久里浜駅周辺

等にうわまち病院を移転することについて

イ 市財政の維持と地域バランスの観点からの市立病院統合・再編の必要性について

(6) 総合型地域スポーツクラブの設置に向けた働きかけ及び開設経費の助成について

## 9 子育て支援について

(1) 合計特殊出生率について高い目標を設定し、効果が見込まれる施策全てに関して目標値と対比しながら取り組む必要性について

(2) 待機児童問題について

ア 本年4月における待機児童数ゼロ達成の可否について

イ 幼稚園・保育園費用の段階的無償化による入園希望者の増加への対応策について

(3) (仮称)北こども園及び(仮称)南こども園の整備を同時並行で進めることについて

(4) 市の看護師がぐあいの悪い子どもを自宅へ迎えに行くサービスの導入に係る提案を含めた、病児・病後児保育の現状を改善する必要性について

(5) 放課後全児童対策について

ア 同対策の試行対象校選定において、地域のニーズを鑑みて優先的に選定することについて

イ 放課後子ども教室の導入校数について

## 10 教育について

(1) 教員の多忙化対策について

ア 市内小中学校6校の教員を対象とした超過勤務時間調査の分析結果について

- イ 200 時間を超える超過勤務に対する市長の見解について
  - ウ 同超過勤務に対する対応策について
  - エ 教員の勤務時間を管理するタイムカード等の導入について
  - オ 教員の多忙化の一因とされる部活動に関する具体的な対応策について
  - カ 教員の部活動へのかかわり方の見直しについて
  - キ 部活動のフレキシブルな対応に関する市長、教育長の見解について
- (2) (仮称) 学校施設長をモデルとして1校に配置することに関する市長、教育長の見解について
  - (3) 教育委員会における弁護士の直接雇用に関する市長、教育長の見解について

## 11 まちづくりについて

- (1) J R 久里浜駅周辺の再開発及び J R 横須賀線の強化について
  - ア 同駅の東西をまたぐ橋の設置を含め、駅や線路上部も活用した総合設計により十分な機能集積を図ることについて
  - イ 新駅設置及び一部区間の複線化による J R 横須賀線の輸送力強化について
  - ウ J R 横須賀線への財政支援の可能性も含めた J R 東日本との協議実施について
- (2) 市民参加による既存公園の利用ルールの見直しについて
- (3) くりはまみんなの公園の代替策について